

# CHOHO

Vol.4



長崎大学広報誌【長報:チョーホー】

2003年7月(年4回発行)

Summer

座談会

斜面都市・長崎

学部を越えた交流から生まれる新しいアプローチ

#### 【長報:CHOHO】について

---

広報誌「CHOHO」の名前は、長崎大学工学部社会開発工学科4年伊藤英孝君のアイデアで、「長崎大学広報」の最初と最後の文字をとった「長報」を、広報委員会広報誌企画・編集専門委員会でローマ字表記としたものです。

#### 【表紙】について

---

タイトル「申名(シンメイ)」  
申 京愛(シンキョンエ)

長崎大学大学院教育学研究科( 絵画領域)

誰もが日常的に使っているフォークをモチーフにした作品です。食文化の面から見ても、その形態や機能からしても、フォークは箸とスプーンの間期的存在だと考え、その“ニュートラルな側面”を表現しています。

「かつて海外文化の窓口であった長崎のミクスされた文化はニュートラル性に通じる、それは私のアイデンティティの表現にも通じる」という作者は韓国の人。西洋や中国の文化を柔軟に受け入れながら独自の文化を築いてきた長崎は、若いアーティストの創作意欲をかきたてる不思議な魅力があるのでしょう。





# COLUMN

【学長コラム】

## 私へ、長大へ、アクセスを!

五月二十二日に経済学部で校舎竣工祝賀会がありました。三十年ぶりの新築でした。学生諸君の勉強環境はすばらしく良くなりました。

翌日、メールが届きました。「経済学部三年の福田哲郎と申します。インターネット倶楽部というサークルで活動しています。昨日の経済学部祝賀会のニュースをさっそく掲載しました。ご覧下さい。学生サーバのトップページ(<http://students.econ.nagasaki-u.ac.jp/>)からアクセスできます。当倶楽部では、これからも経済学部のニュースをいち早く取り上げ、経済学部のホームページ(<http://www.econ.net.nagasaki-u.ac.jp/>)や、同窓会のニュースページに負けないよう、質量ともに充実させていきたいと思っております」とありました。長崎大学にはこのような課外活動もあるのです。

経済学部は明治三十八年に長崎高等商業学校として設立され、経済系の大学としては東京高商(一橋大学)、神戸高商(神戸大学)に次ぐ古い歴史を持っています。

昨年は九州電力、三井化学、全日空など国内一流企業のトップによる「経営トップセミナー」の講義が大きな話題を集めました。二年後の創立一〇〇周年記念の企画として、同窓会(会長・福地茂雄アサヒビル会長)から提供された全国に例をみない十五回連続の講義です。市民の皆様も大勢聴講しました。長崎大学経済学部に関心のある高校生の皆さん、インターネット倶楽部のホームページにアクセスしてみてください。いろいろな面白いですよ。

追伸:学長メッセージ(<http://www.nagasaki-u.ac.jp/>)にもアクセスしてご意見をください。  
メールアドレス:[president@ml.nagasaki-u.ac.jp](mailto:president@ml.nagasaki-u.ac.jp) 必ずお返事します。

HIROSHI SAITO

### CONTENTS

- P01 【座談会】斜面都市・長崎
- P06 【幕末・明治期日本古写真コレクション 明治ジャパネスク】長崎浦上街道
- P07 【いいか放題】青来 有一 さん
- P08 【長崎学—歴史・民俗—】長崎の近代都市形成史
- P11 【健康生活】糖尿病
- P12 【教育のひろば】教養セミナー 【留学生のお国自慢】マダガスカル
- P14 【学内探訪】原爆の遺構&碑めぐり
- P16 【We Love Circle】ペーロン・サークル
- P17 【インフォメーション】・【編集後記】

学部を越えた交流から生まれる 新しいアプローチ

座談会

# 斜面都市・長崎

石畳の坂道や百万ドルの夜景。斜面地ならではの美しい景観を誇る長崎。

しかしその一方で人口減少や高齢化、老朽化などのさまざまな問題が生じています。

今回は、学部横断的チームを形成してそんな地域の課題に積極的に取り組んでいる先生方に、大いに語っていただきました。

南大浦小学校から望む、どんの山～東山手地区。家々が斜面にピシリ張り付いた光景は、長崎市内のあちこちで見られる。

## 斜面都市・長崎の成り立ち

深く入り組んだ長崎港を取り巻く、標高三百～四百メートル級の山々。長崎の市街地は山の斜面と、ふもとのわずかな平地に形成され、独特の景観を生み出している。

長崎の山の斜面地における家の密集が顕著になったのはいつ頃からですか？

杉山 昭和三十年代から四十年代の高度成長期でしょうね。

茂地 三菱重工などの産業が盛んだった時代に急に人が増え、港を望む斜面地上へ上へと家々が建てられていったんです。

松坂 長崎の山の中腹に墓があるんですが、僕が子供の頃は、墓より上には家はありませんでしたね。

杉山 当時は家を建てる時、今のようないろんな規制もなかったですね。

それにしても高台では、生活に不便ではなかったのでしょうか？

杉山 その頃、家を建てた人は二十代や三十代の若い人で、歩くこともそれほど苦でなかったのです。車も普及していませんから、郊



複雑で長い階段をおぶって移送。

外に住むより、高台でも市内の斜面地に住む方が通勤も買い物も便利だったのでしょ。でも三十年経つたみたいへんなことになっていくわけです。

茂地 しかし、長崎の斜面地といつのはウォータフロントで、景色がいい。朝日を見て、今日、一日がなんぼ。夕日を見て、ああ、今日も一日が終わったぞ、というそんな生活がある。

## 斜面市街地の問題点と街づくり

近年、長崎の斜面市街地の問題として、高齢化や人口減少の進行、道路整備の遅れ、そして細い道が入り組み、空き家や空き地が多いことから防災や防犯の面でもさまざまな難問が指摘されている。



「長崎は70%が斜面市街地だと言われますが、それは根拠のない数字なんです」といふ杉山先生らが、「傾斜度10度以上、人口密度が40人/ha以上で都市的な住まい方をしている地区」という定義づけをして調べたところ、斜面市街地の数値は43%だった。(傾斜度10度とは、オランダ坂(傾斜度11度)くらいの傾斜)



工学部教授  
石松隆和  
Takakazu Ishimatsu

専門/ロボット・福祉工学  
福岡県宗像市生まれ。ロボット技術を生かした福祉用具開発などに取り組む。長崎斜面研究会や高齢者生活支援研究会の事務局としても活動。趣味は水泳、サイクリング。



工学部教授  
茂地徹  
Toru Shigechi

専門/熱工学  
鹿児島県生まれ。材料製造過程の伝熱制御や自然エネルギーの有効利用に関する研究を行う。著書は「熱力学」(共著:朝倉書店)他。趣味は読書(多読・濫読・積ん読・時々精読)。



環境科学部助教  
杉山和一  
Kazutchi Sugiyama

専門/都市計画、交通計画  
長崎市生まれ。主な論文は「長崎県における高密度斜面市街地の抽出」(共著:GIS理論と応用)など。長崎県以外の斜面都市の研究も行っている。趣味はテニス、読書、音楽鑑賞。

杉山 長崎は他の都市と比べても高齢化の進行が非常に急激なんです。その中でも斜面市街地はものすごい勢いで進んでいます。それと人口減少も、「二十五年くらいで半分くらい減ってる地域もあります。」

空き家や空き地も増えていますね。

杉山 そういふ意味で将来的には都市をもつー一回つくり直さなければいけないと思います。防災面、環境、利便性、いろんな観点から見ても、最終的に最低限の道路は必要でしょう。

松坂 医療の面から見ても問題が大きい。障害を持った人やお年寄りが入院中にリハビリで元気を取り戻し、ようやく家に帰っても、斜面が不便だから外出しなくなるんです。するとだんだん社会性もなくなっていく。また寝たきりになると介護ケースも多い。身体だけでなく周りの環

境が直らないとダメなんです。また街づくりでは、利便性だけで道路をつくるのではなく、地域のコミュニティをくずさないようにしたい。人と人との交わりがなくなることは、高齢者や障害者に対する周囲の支援もなくなることにつながりますから。

杉山 道路のつくり方ですが、たとえば交通量の多い道路が斜面市街地をはさんで上下にあつたとしても、その道の道路をつなぐとして市街地をポイントと突き通すような形で、そこに道路をつくる。その地域の中心に車がドンドン入ってきて、地区の生活環境が逆に悪くなってしまうんです。利便性は大事ですが、それをある程度、犠牲にしてもコミュニティを守る事は絶対に必要です。

茂地 街づくりをするにあたっては「コミュニティがある程度、閉じていなくていいな

いんです。車がよそから来て通過して行くというのは危なくて、子供たちも遊ばせません。

杉山 そういったさまざまなことを考慮に入れた街づくりを、具体的に進めるには、二十年間のうちの短期の目標として三十年後、四十年後にはどうありたいという中長期の目標が必要なんです。斜面市街地の建てかえや改善でいえば、短期的にはたとえば斜行エレベーターは無理でも、小型のモビリティをつけて、今いる人々の利便性を高めるとかな。

茂地 斜面で生活するためには、その表面に沿って上下に動かさなければいけない宿命にある。だけどモビリティみたいに、少しずつ斜面から浮かせていくようなアイデア、それは技術的な課題でしょうが…。私などは空間を走るタクシーみたいな車ができればいいなと思ってるんです。

## 異業種交流グループ!? 「長崎斜面研究会」

座談会の出席者は、市民グループ「長崎斜面研究会」のメンバーとしても活動。同会には医療・福祉関係者をはじめ、サラリーマンや主婦、地域の自治会の人々など、多様な職種・立場の人々が参加。坂の街・長崎を見つめ直し、抱えている問題に取り組んでいる。会員数は約二百名。

杉山 長崎斜面研究会は、いろんな分野の人たちがお互いに教え合いながらやっているんです。

茂地 斜面という一つのテーマに対して、いろいろな考えが混じること、新しい考え方が生まれる。好奇心旺盛な人の集まりでもありますね。

松坂 違う職種の人たちと話をしていると、自分では気づきなかつたことも

実は解決の糸口があったりする。

**茂地** ネットワークが強い。そして必ずしも自分の専門で関わられなくてもいいんです。私などは自然エネルギーが専門で直接的な貢献はできないけど、別の方法でこの会を支援していくつもりです。

**扇谷** この研究会主催で高齢者や障害者が集うイベントをやっていますが、学生ボランティアを募るとたくさん集まってくれます。そして参加して良かったという感想が多い。学生たちは高齢者のいない家庭で育った人が多く、かたや独居老人は若い人と話をする機会がない。そんなお互いが話をするところと気付くことがあるようです。これはすばらしいことだと思います。

**全** この研究会は人や地域に目を向けた取り組みをしているところに特徴があります。



医学部教授  
**松坂 誠應**  
Nobuhiko Matsuzaka

専門 / リハビリテーション医学  
長崎市生まれ。英サウサンプトン大学医学部リハビリテーション研究部でも学ぶ(95, 97年)。主な研究テーマは地域リハビリテーション(地域ケアにおける医療保健福祉の連携)。趣味は絵画鑑賞(特に印象派)。



医学部助手  
**中尾 理恵子**  
Reiko Nakao

専門 / 地域看護学  
諫早市生まれ。病院看護師、保健師の現場を経て現職。地域活動を通して斜面地特有の厳しい生活環境を知る。現在は、在宅看護などの研究・教育の他、青少年のタバコ問題にも取り組んでいる。



教育学部助教授  
**全 炳徳**  
Byungduk Jun

専門 / リモートセンシング技術による環境情報抽出  
韓国生まれ。長崎大学工学部講師、(株)ベックの技術開発室室長などを経て、現職。「衛星やCCDカメラによる環境情報抽出」及び「WebGISデータベースの構築と発信」に興味を持つ。



工学部助教授  
**扇谷 保彦**  
Yasuhiko Ogasawara

専門 / 機械工作  
佐世保市生まれ。動力伝達用プラスチック歯車および機械工作に関する研究に従事。趣味は、山行、日曜大工、動物観察。好きなテレビ番組「地球ふしぎ大自然」。

## 斜面市街地への 取り組みと行政の変化

転換期にある現代社会。そんな中、行政が市民の声を活かそうとする姿勢が顕著になり、その変化は先生方の活動にも影響を与えている。

**松坂** 最近、長崎市が行っている街づくりのいろんな委員会などに、医療分野の私にも呼びがかかるようになった。これまで都市計画をやっていた人たちが、福祉や医療の考えが街づくりに必要だとい

**松坂** 斜面というのはある意味置いてきぼりにされ、工学や医療の面でも手付かすところがあった。それではダメだといふことで、いろんな人たちが集まって来た。すると、やれるのではないかという気持ちにもなるし、現実にも可能になって来たわけです。

いかに気付いたわけです。

**石松** 私も市の街づくりの委員になってくれと頼まれました。私の専門は機械をつくることですが、街づくりに必要だと気付いてくれたわけです。

**茂地** 行政の視点も変わって来てますね  
**石松** 今、長崎市がまさにそうです。従来は行政が中心となっていた計画を

実施していたけれど、積極的に市民から意見を汲み上げようとしています。その中で市民のボランティア活動もどんどん活用されるようになっています。だからますます私たちの活動が



石松先生らが試作したロボット型階段昇降機。

大事になっているわけです。最終的には制度できちんとできるのが理想ですが、現実は無理なものがある。その部分をボランティア活動でやっているんです。

**松坂** いろんなデモンストラーションがある行政は採用していくんです。介護の分野でも、最初はボランティアでいろいろやりながら行政に提案していきましたしね。

**石松** でも行政といふことはかりではない、民間企業がやってもいいことだと思いますね。ここで誤解されたくないのはボランティアという言葉ですが、大学の私たちがやっているそういった活動は、本当にその言葉が適切とも思えません。ここにいる皆は、大学側も地域のために何かやらなくてはいけないという使命感をすごく感じながらやっているんです。

## 学部横断的取り組み

### 地域社会へ発信する大学

各学部で専門を抱える先生たちは、学部を越え、それぞれの知恵を活かしあひながら、さまざまな視点から斜面市街地の問題へアプローチ。大学自らが地域社会へ分け入り、共に活動するという新しい動きが活発になりつつある。

**杉山** 坂道を登ることが、高齢者の身体にどれくらい負担になっているのかを、中尾先生と一緒に現地を歩き回って調査しました。

**中尾** 私一人でやると、医療の面からの考え方ができませんが、杉山先生に助けていただくと工学的な考え方を取り入れることができます。

**杉山** 斜面市街地への取り組みは、問題解決型で、一つの分野だけで対応できるわけではないんです。そついつの意味でいろんな人が集まるというのが、よく自然な話で、これもまたひとつのコミュニティなんです。茂地 とにかく今できることは何かというところで、大学の先生方はいろんなことを知っていますから、その知識を組み合わせてあげようという意識をわけます。たとえばロボティクスや工学だけで使われていたものを医療に使ってとかね。再点検するとか、いろいろな働きかけがたくたくあると思う



長崎市風頭山の山頂付近にある観光ホテル「矢太楼」に設置されたプロペラ風車(左)とサボニウス風車(右)。茂地先生らが斜面地形の特性を自然エネルギーの視点から有効活用する事を目的に実証的研究を行っているもの。

うんです。

**石松** この分野にも言えるでしょうが、研究者として地域に貢献しようとする時、自分自身も変わらなければなりません。つまり私たちは学会が必要としていることとはわかるけれど、地域が何を必要としているかはわからなかった。たとえば私が持っているロボット技術だけをそのまま地域に持ちこんだとしても、相手は受け入れようがない。そこで学部横断的なネットワークで足りない部分をサポートしてもいいんじゃないか

ようやく地域の必要とするところに手が届くといったね。

**松坂** 既成の大学の枠の中から地域の中を見ようとしても見えないんですね。現場に行かないとわからない。だから視点を変える必要がある。実際、地域の中でこんなことが起きているかを知らないとか、治療などできないわけです。それに研究者の立場から見ても、地域は研究テーマの宝庫でもあります。

**石松** 大学の教員は、研究面で、そして教育面でも、そして教育そのものも、地域のことを考えなければいけないと思う。たとえば長崎大学に入ってきた学生たちが大学のすぐそばの斜面地で何が起きているのかを知らない。全てである必要はないけれど、やはり地域に根差した教育は必要だと思えますね。

**中尾** 私は以前、保健師として、浴槽をかかえて斜面地を登り、入浴サービスを行うといった地域の現場での経験があるのですが、そこで感じていたのは、その人が住んでいる生活の場にごそ出発点があるということでした。そして大学は知的財産の宝庫なので、大学を利用して地域も育ててほしい。逆に大学も地域を見て育つ、相互教育の可能性があると思うのです。

**石松** 大学という立場で地域の問題に

取り組みをつとめるとき、新しい手法をつくらなければならない。地域と大学がお互いにそれを探る中で、新しい科学技術が要求され、そして生まれて来る。これは大学についても素晴らしいことです。



ヘルパーの方(右)と一緒に地域活動を行う松坂先生。「実際に患者さんの生活環境を見ることが大事。現場で小さな段差を取り除いたり、部屋や玄関先にちょっとしたスロープをつけるなど、すぐに対応できることもある」。

## GISを

### 斜面市街地に活かす

GIS (Geographic Information System) とは、さまざまな情報をコンピュータの地図上に三次元的に表示するシステム。建物や現在位置情報だけでなく、都市インフラに関する情報なども対象。これからの情報提供ツールとして欠かせない存在である。

**全** アイデア次第で非常に便利なシステムがつけられる。GISは、斜面市街地問題

に対して、ツールとしていろいろな可能性を秘めているはず。

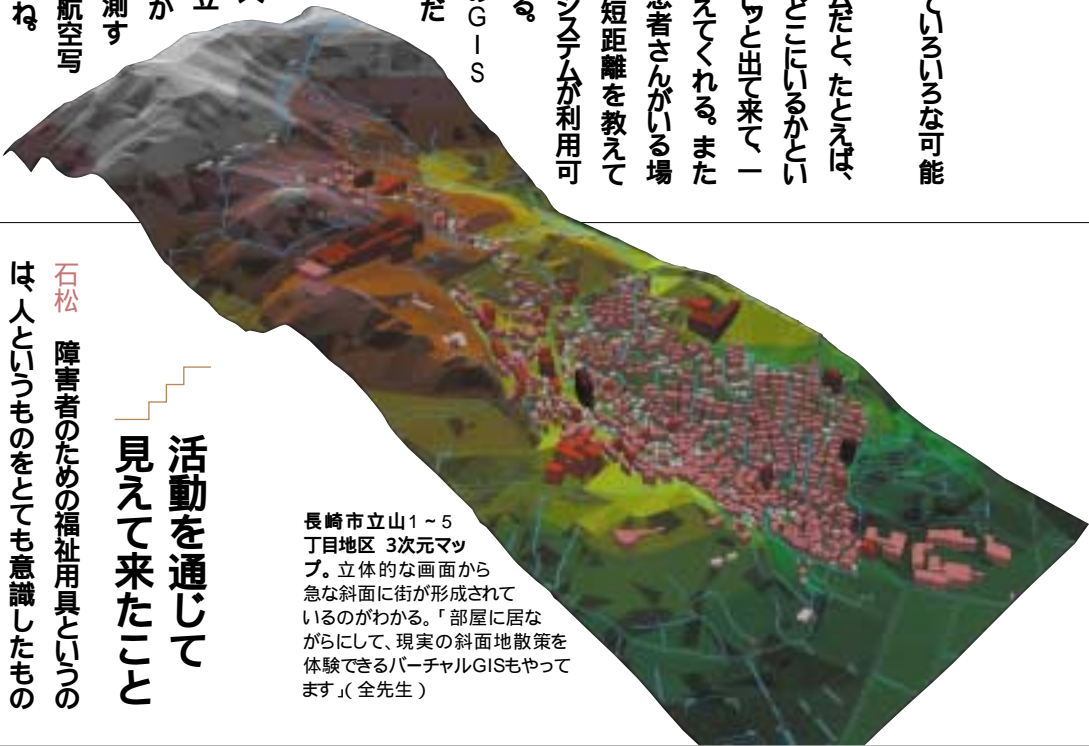
**松坂** GISのシステムだとたとえば、往診してくれる先生がどこに居るかという情報も地図の中から出て来て、一番近い場所の先生を教えてください。また救急医療の現場では、患者さんがいる場所へ救急車が通れる最短距離を教えてください。今後、そういうシステムが利用可能になるとしても助かる。

**石松** 長崎の斜面地のGISをつくろうとするときに、ただ階段があるじゃなくて

どんな階段があるのか、そういう細かい情報が非常に大切。実際に人を運ぶ時、それが役に立つ。それで、そういう細かい情報をどうやって計測するかが問題なんです。航空写真ではとても見えないしね。

**全** デジタルカメラを使った計測手法を開発し、解像度の高い情報を集めていきます。

**中尾** 長崎の斜面地の階段は段ごとなら長かったり、短かったりしてとても複雑。車椅子での移動や医療器具を運搬する時にも、そういう情報は大切ですね。



長崎市立山1~5丁目地区 3次元マップ。立体的な画面から急な斜面に街が形成されているのがわかる。「部屋に居ながらにして、現実の斜面地散策を体験できるバーチャルGISもやります」(全先生)

### 活動を通じて 見えて来たこと

**石松** 障害者のための福祉用具というのは、人というものをとても意識したもので、くりなので、健常者にとっても非常に使いやすいんです。ひとつの特殊なケースを考へるとは、一般的にどこにあるべきかを考へるというふうなものです。

**扇谷** 私は現在、医療関係で使われている福祉用具は、実はもっと使いたくなくて、きるのはないかと思っています。一人ひとりの状況に応じてきとくをつくってあげたいですね。

とりの状況に応じてきとくをつくってあげたいですね。

**石松** 最近、身体がまったく動かない人や言葉が発せない人が家族とコミュニケーションができるような福祉用具をつくって貸し出して喜んでもらっているケースがあります。一般に福祉用具は利用者の要求にマッチしたのを見つけてるのは大変ですが、大学が参加することで、最新技術を活かして最適なものが提供できます。

**中尾** 大学だからこそ、できることですね。

**石松** そう、教育・研究とリンクしているから、福祉用具の開発をやっているつくづく思うのが、ロボット技術だけでなく、もっと医療や福祉・介護保険、そして家族関係も理解に入れて装置をつくらないといけないということ。もちろん一番大事なことは本人の気持ちですけどね。先日、足腰が衰えてずっと居座った生活をされていたおばあさんに、いろいろな状況を考えた結果、車椅子の生活に変えませんかという提案したら、おばあさんが泣き出された。本人がこれまでずっと生きて生活してきたか、その辺の気持ちを加味しないといけないから、た。あらためて痛切に思い知らされました。

**中尾** こちらの方が良かれじゃなく、その方がどうしたいかなんです。

## 全国へ、未来へつながる 斜面市街地の問題

長崎として永遠のテーマともいえる斜面市街地の問題。それは近い将来、日本の社会が抱える大きな問題にもつながっている。

**石松** 日本は高齢化が大きな問題になっていますが、実は斜面地においては、何年か先に世の中で起きているであろうような事態がすでに起きている。たとえば高齢化率もずっと高い。

**中尾** 二〇%を超えていますね。

**杉山** 今、同様な事態が全国の老朽市街地で生じています。長崎の斜面市街地はその極端なケースと言えます。

**石松** そこに取り組むことで、将来の日本全体にも役立つしていくのではないかと、思います。

**松坂** 私の夢は長崎でマフリンデックを開くこと。この斜面地で移動が自由にできたりすると、長崎は世界に誇れる街になる。たいへんだけども、仲間がいるからね。

**中尾** 現実はずっとには変わらないうけ、ずっと言い続け、地道にやり続けたい。ぜひ、少くとも少しづつ変わっていくのだと思います。

老朽市街地：住宅や施設の老朽化などによる居住環境の悪化や人口減少、高齢化で衰退している市街地のこと。



# 長崎浦上街道

【NAGASAKI-URAKAMI ROAD】

右の写真 / 浦上街道の起点(長崎市西坂町)

明治  
Meiji  
Japanese  
CHOKO  
06  
4

## 世界に誇る、 珠玉のコレクション

写真技術は日本が開国する前後に長崎で確立し、日本全国に伝わりました。当時、日本の写真術の開祖と称される上野彦馬らが活躍。膨大な数の長崎の写真が残されており、長崎は写真史においても重要な場所といえます。

長崎大学が所蔵する「幕末・明治期 日本古写真コレクション」の内容は、主に外国人居留地である長崎・横浜を中心に、東京、京都、大阪、神戸やその他の観光地の風景・風俗・人物などを撮影したものです。その多くは当時の職業絵師により彩色されています。総点数は約6,000点(2003年3月末日現在)。近代日本の生い立ちを研究する貴重な資料として、我が国多数のコレクションになっています。

このコーナーでは長崎大学が所蔵するコレクションを基にそれにまつわるエピソード等を交えながら紹介していきます。



長崎浦上街道(絵はがき) 所蔵:長崎大学附属図書館 [サイズ縦9.1cm×横14.2cm] 写真に彩色して平版印刷

「浦上街道」は、1597年に西坂の丘で殉教した日本二十六聖人が長崎入りする際、通ったことで知られる。また、1691年、出島のオランダ商館付医師ケンペルの一行も江戸参府の際、この街道を利用した。

## 街道筋を流れる浦上川の風景

### 時津街道筋の浦上川の風景

「浦上街道」の途中の風景である。この通りは「NHK長崎」の上の西坂を起点とし、時津に至る「時津街道」の道筋にあたる。

西坂から浦上村馬込―山里―平野―中野―平敷―家ノ郷土橋―滑石―打坂―継石―飛石―時津と一つのながその頃のおよその道順である。ちなみに時津からは船で大村湾を渡り東彼杵に上陸。ここから先は嬉野、小田、佐賀、原田、飯塚、黒崎などを經由し小倉に至る。いわゆる「長崎街道」である。

この写真の撮影場所は、背後の山並みと右手の浦上川に流れ込む三筋の川のつち家ノ川の辺りであらそ土橋(現大橋)付近の風景と推定してよいだろう。

荷物を背にした馬を牽き、浅く清らかな浦上川の流れをゆくり歩いてくる三人の男たちがいる。街道の松は緑ゆたかたが、背後の山には段々畑が見える。左手奥の家は農家と思われるが、屋根は瓦葺きである。その手前の馬込郷の海岸の突端には天王山聖徳寺があり、その奥には船江が入り込んで、深江と称していた。浦上川では白魚がとれた。『長崎名勝図絵』浦上村の図参照)。しかし時代が下るに従ってこの辺りの堆積地は埋め立てられ、開墾されて新田にかわった。



『長崎名勝図絵』浦上村の図(長崎市立博物館)

### 明治末期の印刷技術を垣間見る

「CARTES」の写真は、絵はがきに印刷されたものであるが、裏面のタンプ、発信の日付から明治末年ないし大正初年に撮影されたと思われる。写真のできれば美しく、秀逸である。版面から多色平版オフセットによる写真印刷と推測する。当時の技術から見ると、おそろくモノクロ写真に彩色したものを原版としたのである。

オフセット印刷機は、明治三十九年(一九〇六)アメリカ人のアリス兄弟が実用化して市販した。日本でもアリス型をモデルにして明治四十五年(一九一〇)に大阪で制作し、東京で「きき」と国産の多色印刷機が実用化された。

この絵はがきは、その時期に制作され長崎で販売されたものであろう。裏面にはフランス語で大きく「CARTES POSTALES」に下イット語「スイス語、英語、ロシア語」向様に印字されている。セツトとおぼしき同サイズの「長崎悟慎寺」「崇福寺山門」「出雲町全景」「縣立中学校」「茂木街道ノ水車」「茂木街道田上橋原茶店」「稲佐公園」などのカードがある。これはその中の一枚である。

長崎浦上街道(絵はがき裏面)

Mes. D. Sommers/221 Noe St. / San Francisco California 4/20/14  
Greetings from Nagasaki. I'll stay here till Thursday. Expect to arrive in Honolulu about May 3rd. Bestest Jim.

大正3年(1914)4月20日、長崎滞在中のジムが、カリフォルニアのミセス・ソマーズ宛てに投函。「木曜日までここにどまり、5月3日にはハワイのホノルルに到着する予定だ」と記されている。この3ヶ月後の8月16日、第一次世界大戦勃発。彼は無事にアメリカ本土へ帰着いたのだろうか。

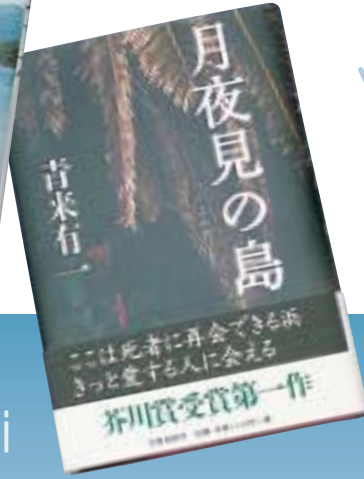


# いいたか放題

せいらい ゆういち

青来有一さん

長崎で執筆活動を続ける青来さん。学生時代の読書は、その後の人生に大きな影響を与えました。



Yuichi Seirai



## 乱読の日々

大学生がはきりと消費者の相貌を現し始めたのは八十年代前後だろうか。一九八一年のベストセラーに、田中康夫の「なんとなくクリスタル」があったと言え、いくらかは時代の雰囲気を感じられるかもしれない。

この時代に大学生生活を過ごしたが、ブランドに囲まれた消費生活など無縁だった。だからといって、専攻の勉学に集中したわけでもない。同好会にも所属しないで浪費したのは時間ばかりだった。ただ、本は読んだ。それも、たとえば生協で見つけた「ユング心理学入門」に触発され、ユングの著作を読み耽り、夢日記を記すといったふうな偶然と逸脱の乱読である。一昔前の文士なら人生修養のための自己探究とでも言えるだろうがなんの「貫性もない」読書の実態は気ままな退屈のきだった。もっとも、大江健三郎や中上健次の小説で現代日本文学のおもしろさを知り、後に小説を書くことになるのだから効用がなかったわけでもないだろう。

一九八三年、浅田彰の「構造と力」が出版される。難解なポストモタンの哲学をシャープに解説したこの書物を持ち歩くことが一部の学生の知的ファッションとなったが、むしろ自分がしてきたこともモノではないが、そうした知の流行を追うばかりのやはり一種の消費に過ぎなかったのかもしれない。



「千年の愉楽」中上健次 著(河出書房新社)。学生時代からずっと読んでいて、青来さんに影響を与え続けている作家。「初めて読んだ時、日本語でこういうものがありなのか!って思いましたね。」

「聖水」青来有一 著(文藝春秋)

第124回芥川賞受賞の表題作をはじめ文学界新人賞を受賞した「ジェロニモの十字架」、そして芥川賞候補作の「泥海の兄弟」「信長の守護神」が収められています。

「月夜見の島」青来有一 著(文藝春秋)

芥川賞受賞後、待望の第一作。「満月の夜、死者に再会できるという言い伝えのある島を訪れた夫婦を待ち受けるものは...。」土俗的な香りに包まれたストーリーにグイグイ引き込まれます。



日本文学の本流、芥川賞受賞作品を収録した「芥川賞全集」(文藝春秋)。青来さんの「聖水」は第19巻に収められています。

芥川賞の贈呈式会場(丸の内 東京会館)。ご家族と一緒に出席された青来さんは、「親孝行になりました」と照れ笑い。

青来有一(せいらいゆういち)

1958年、長崎市生まれ。長崎大学教育学部卒業。95年「ジェロニモの十字架」(文学界新人賞受賞)で芥川賞候補となり、文壇デビュー。以後も「ウネメの家」「泥海の兄弟」「信長の守護神」で芥川賞候補に挙げられ、01年1月「聖水」で同賞の受賞を果たした。長崎市在住。



芥川賞を受賞した時、記念に作ったガラス製のペーパーウェイト。青い「Seisui」が入ってる。





岡林 隆敏(おかばやし たかし)  
高知県生まれ。工学博士。専門は土木工学。研究分野は橋梁振動、土木史、古写真の研究とコンピュータによる表現など。近著「長崎県の近代化遺産」(長崎県教育委員会)、「長崎の100年」(郷土出版)など。2003年4月より附属図書館長。趣味は木版画。

## 長崎の近代都市形成史

### 幕末〜昭和戦前期

工学部教授 岡林隆敏



図1 江戸中期の長崎湾(長崎県立長崎図書館)

#### 一、人工都市の誕生

鎖国時代の出島、外国人居留地の建設  
明治後期の七大都市への発展、原子爆弾の被災、国際平和文化都市の建設など、  
長崎市は特異な発展をしてきた都市です。ここでは、現在の都市の骨格ができる、幕末から昭和戦前期における長崎市の都市形成の歴史をまとめてみました。

江戸時代における長崎市街地の大きな変化には、寛永十三年(一六三六)に完成した扇形の「出島」の築造と、元禄十五年(一七〇二)に「唐人屋敷」の前面に造られた正方形の「新地蔵」(現在の中華街)の築造があります。江戸時代中期、一七二〇年頃の長崎と浦上村を示した地図が(図1)です。湾の奥は浦上村で、山裾まで海が迫り、浦上川と下の川の合流点付近、現在の陸上競技場近くまでが海です。長崎大学の場所は、浦上川を上った地図の北の外れ付近です。

享保十五年(一七三〇)から浦上新田埋築が始まり、江戸時代の末には、現在の銭座町電停の付近まで田圃が造られます。このような地形の上に、明治時代以降から現在にかけての長崎市街地が建設されてきました。

#### 二、外国人居留地の建設

安政五年(一八五八)、徳川幕府は米、蘭、露、英、仏、五ヶ国と修好通商条約を締結し、翌安政六年、箱館(函館)、神奈川(横浜)、長崎が開港され、長崎では外国人居留地の建設が始まりました。長崎南方の大浦湾を埋め立て大浦居留地、その背後の山手を造成して東山手・南山手居留地が造られます。また、大浦川左岸から海岸部を埋め立てて下り松居留地が造成され、さらに、梅香崎の地先に梅香崎居留地が造られ、外国人居留地と旧市街がつながります。慶応二年(一八六六)

に出島が居留地に組みこまれて、長崎の外国人居留地が完成します。海に面した通りに商社や領事館、内陸部にはホテルや茶工場、山手には住宅、学校や教会のように、外国人居留地には区画された近代的な都市計画が導入されました。大浦居留地と出島を撮影した『写真1』から、大浦バンド(band)に整然と並び規模の大きな洋風の建物を見ることがができます。浪の平小学校周辺には、現在でも外国人居留地の風情が色濃く残されています。



写真1 南山手からの大浦居留地(長崎大学附属図書館)

### 三、中島川の交流

明治初期には西南戦争のよつな混乱が続き、長崎港の維持管理が十分に行われなかつたために、中島川から流出した土砂が堆積して船が港に近づけなくなりました。長崎県は明治政府に調査を依頼して、河川からの土砂流出を止めることと港内の浚渫を行いました。土砂による港の閉塞を防ぐことはできませんでした。そこで、明治十五年(一八八二)より明治二十六年(一九三三)にかけて、第一期長崎港改良工事が

行われます。明治十八年から二十三年にかけて、土砂を港から遠い出島の北側に排出させるために、中島川が出島の背後に変流されました。以前の川床が埋め立てられたために、この時、出島と築町がつながり、出島が陸続きになります。出島変流工事の図面が『図2』です。このとき、出島の北側が約十八m削り取られ、現在の形になりました。

この工事では、大黒町より外国人居留地に至る沿岸部が浚渫され、出島から大黒町の沿岸部が埋め立てられ、そこに浦上新道が造られます。中島川河口に米國から輸入された鉄製の新川口橋、上流に移設され、現在の出島橋、その上流には木鉄混橋の出島橋、長久橋などが架設さ

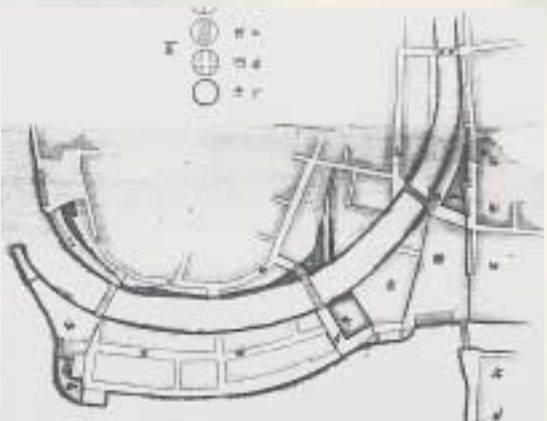


図2 中島川変流事業(長崎県立長崎図書館)

れました。近代的な技術で造られたトラス橋が架設された沿岸部は、近代的な都市の装いとなりました。明治二十二年(一八八九)四月一日、全国の三十一市と共に市制を施行し、長崎市が誕生します。出島の東側、出島橋から出島神学校付近は、長崎市内で唯一、明治中期の景観が残されているところです。

### 四、長崎市の地形を決めた最大の埋め立て

明治二十六年(一九三三)頃になると、浦上川の河口から流出した土砂の堆積が問題になります。九州鉄道長崎線の長崎駅を市街に近い大黒町近くに建設するため、九州鉄道は長崎港の埋め立てを



図3 第二期長崎港改良事業による埋地

長崎県に申請しました。これを受けて、長崎市では、出島前から大波止沿岸、さらに現在のJ・Rヤードを含む広大な埋め立てを伴う、第二期長崎港改良工事の実施を決定します。この工事は明治三十年（一八九七）十月に起工式を行い、明治三十七年（一九〇四）十一月に完成しました。この改良工事で埋め立てられた範囲が（図3）です。第二期港湾改良工事により、湾奥部、大黒町から五島町にかけての市街地沿岸、さらに出島前面の景観は一変しました。この工事による埋め立てが、現在の長崎の地形の骨格になっています。

明治三十一年（一八九八）の第一次市域拡張により市域は二倍以上になり、明治三十六年（一九〇三）には、東京、大阪、京都、横浜、名古屋、神戸に次いで日本の七大都市になり、神戸以西では最大の都市に発展しました。

## 五、出島岸壁の完成

明治後期から大正期には、大型客船時代を迎えます。しかし、横浜港、神戸港などに比べ、長崎港は近代的な港湾施設の整備が遅れ、大型船が接岸できる岸壁が整備されていませんでした。そこで、長崎市は第三期長崎港改良工事を決定し、

出島の前面に大型船が接岸できる岸壁を計画します。この工事は大正九年（一九二〇）に起工し、出島岸壁と元船岸壁を建設して昭和二年（一九二七）に完成しました。出島沿岸約四百m、幅約四十五mを埋め立て、水深約九mの係船岸壁を築造し、八千トン級二隻または三隻同時の接岸が可能になります。岸壁の一部が完成した大正十二年（一九二三）二月、長崎 上海間に日華連絡船の長崎丸が就航します。昭和五年（一九三〇）には、長崎駅から出島岸壁に至る臨港線が完成し、長崎港駅が開業しました。

鳥瞰絵師吉田初三郎は繁栄する昭和九年の長崎市を（図4）のように描いています。江戸時代中期には海だうた浦上地域はほとんど埋め立てられ、旧市街から浦上地区へ連続した市街が形成されました。日華連絡船からの乗客を乗せた列車が、長崎港駅から長崎駅に向かって中島川鉄橋を渡る情景が、（写真2）のような絵葉書になって残されています。

現在の出島ワーフが出島岸壁の遺構です。この水際にたたずむと、大正から昭和初期にかけて、長崎丸と上海丸により繁栄した長崎港の賑わいに思いをはせることができます。

## 六、おわりに

昭和十年代になると日中戦争、また昭和十六年には太平洋戦争が始まり、都市の発展は停止します。昭和二十年（一九四五）八月九日に原子爆弾が投下され、嘗々と築かれてきた長崎市の都市機能は一瞬の内に失われてしまいました。しかし、戦後直ぐに戦災復興事業が始まり、昭和二十四年（一九四九）、長崎国際文化都市建設法が制定され、長崎市の新たな戦後の都市建設が始まったのです。

本文は、新人生を対象にした「教養特別講義」において、三回に分けて講義をしている内容を要約したものです。

写真2 長崎港駅から長崎駅へ向かう列車

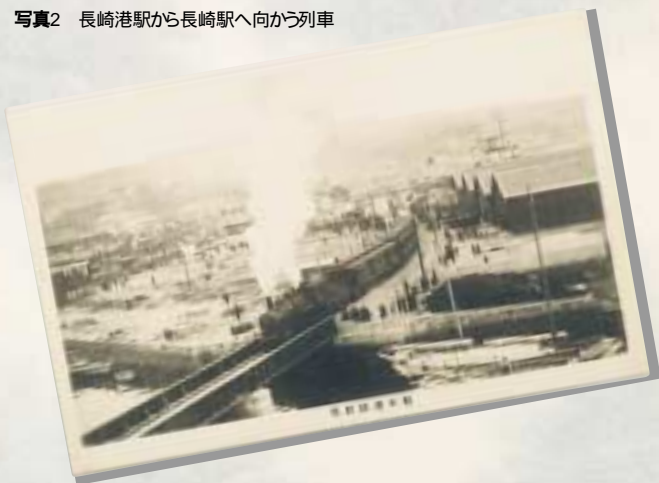


図4 景勝の長崎(吉田初三郎:昭和9年)



### 糖尿病になりやすい現代の生活環境

「糖尿病」という言葉から何を連想しますか？

「尿に糖がでる病気」、「ぜいたく病」、「太りすぎ」、「合併症」などの言葉は容易に出てくると思いますが、「予防できる病気」というのはどうでしょうか？ 現在40歳以上の10人に1人は糖尿病にかかっていると考えられており、年々著しく増加しています。もともと日本人は糖尿病とはあまり縁のない民族でした。それなのに、近年糖尿病が急激な勢いで増加してきたのは、私たちの生活が変化したことが原因です。糖尿病は運動不足やエネルギーの摂り過ぎによる肥満や遺伝(体質)と深い関連があります。現代の私たちの生活は以前に比べ豊かになり、ご馳走を食べ、自動車の普及により歩かなくなり、日常生活も電化されました。つまり、私たちは糖尿病になりやすい環境におかれています。

### 知らないうちにしのびよる病

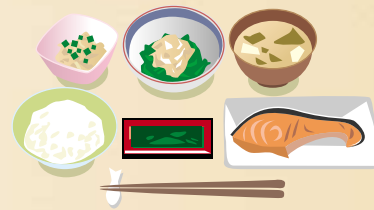
糖尿病は、血液中のブドウ糖(血糖)が高くなる病気ですが、血糖値が高くなると全身の血管がポロポロになり、特に細かい血管が集まっている眼や腎臓や神経は傷害を受け、糖尿病特有の合併症(網膜症、腎症、神経症)をひき起こします。しかし、やっかいなことに糖尿病になっても初めのうちはほとんど症状がありません。知らない間に合併症がしのびより、症状が出たときには合併症がかなり進行していることもあります。

### 体重減量とウォーキングで予防

昨年、「生活習慣改善」と「血糖降下剤」とどちらが糖尿病予防に有効かを糖尿病予備軍で調べた『糖尿病予防プログラム(DPP)』の結果が発表されました。それによると、5%~7%の体重の減量と1日30分のウォーキングをすることによって、糖尿病の発症が58%も減少できました。特に60歳以上では顕著な効果がみられ、なんと71%も減少できたのです。糖尿病は「予防できる病気」です。まずは肥満があるかどうかをチェックしてみてください。BMIが25以上あれば肥満ですので減量に心がけましょう。また、糖尿病にならないように、日常生活の中で「基本的な健康習慣」を身につけましょう。

あなたのBMIは？

BMI = 体重kg ÷ 身長m ÷ 身長m



生活習慣病のひとつとして知られる「糖尿病」は近年、患者数が急増中です。その要因は、遺伝などもありますが、運動不足や肥満、ストレスなど日々の生活の努力で防げるものもあります。この病気に対する理解を深めて、上手に予防しましょう。

## 病気予防の処方箋

# 糖尿病

### 基本的な健康習慣

- 1 規則正しい朝食**  
毎日きちんと朝食を食べる。
- 2 適正な睡眠**  
1日平均7~8時間は眠る。
- 3 バランスのとれた食事**  
ビタミン摂取。砂糖の制限。脂肪分はエネルギーの25%以内に。
- 4 禁煙**  
たばこは「百害あって一利なし」。
- 5 運動**  
1日30分以上の散歩。
- 6 適正な飲酒**  
ビールなら大瓶1本、日本酒なら1合まで。
- 7 適正体重**  
体格指数(BMI)を22に近づける。
- 8 労働**  
あまり働きすぎない。疲労をためない。
- 9 心の時間の余裕**  
ストレスをため込まない。

### 生活習慣病が引き起こす「死の四重奏」



長崎大学医学部附属病院 代謝疾患治療部 副部長 川崎 英二

〒852-8501 長崎市坂本1-7-1 TEL095-849-7550 FAX095-849-7552

学生時代は、教養セミナーからはじまる！

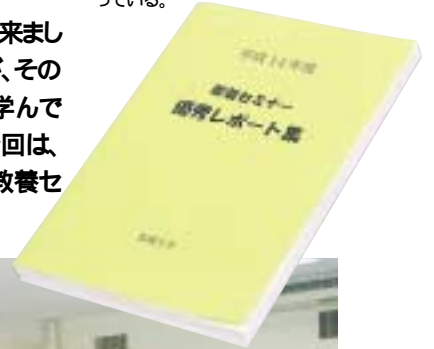
# 教養セミナー

特に優秀な20数点のレポートを掲載。学生と先生の熱意が伝わってくる充実したレポートが揃っている。



大学教育機能開発センター全学教育研究部門 部門長  
高橋 正克 教授(薬学博士)  
教養セミナーのシステムづくりを担当している。

今年も長崎大学には、1600人余りの学生が入学して来ました。新しい環境に期待と夢をふくらませる彼らですが、その多くが大学とは一体どんなところで、どういふふうで学んでいくのだろう、といった不安を抱えています。そこで今回は、スムーズな学生時代のスタートをバックアップする「教養セミナー」についてご紹介します。



少人数クラスで、いろいろな学部 of 学生が共に学んでいく。

大学生として学んでいくための基礎力を身につけるセミナー  
高校までは先生の教えに従って勉強すれば良いのですが、大学では自主的に学んでいかなければなりません。大学に入学したばかりの学生では「この変化にどうもどいを感じる人も多いようです。しかも昨今の若者は、指示待ち症候群」(勉強

はちやんとするが指示を与えられないと動かず、積極性や自主性が足りない)の傾向にあると言われ、それがきっかけで、大学をドロップアウトしたり、進級が困難になる学生も少なくありません。

そこで新入生がスムーズに自主的な学習法を身に付け、新しい環境に慣れ親しんでいくことを目的に設けられたのが「教養セミナー」です。学生たちは「このセミナーで自分たちで問題提起をし調べたり、人に尋ねたりする、いわゆる大学の講義の理解の仕方を学びます。そうして知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力や、レポート・口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて、適切な自己表現能力を育てていきます。

いろいろな学部の学生がひとつのクラスになって

その目的から「基礎セミナー」「フレッシュマンセミナー」などとも言われる「教養セミナー」は、他大学でも初年次教育の重要な科目として近年、開講されていますが国立大学の中で取り入れているところはまだ少ないようです。また、その実施方法も大学によつてさまざまです。

長崎大学では平成十四年度から一年次前期の必修科目として開講。一クラス十名程度で、いろいろな学部の学生が共

## お国自慢 【マダガスカル編】



MADAGASCAR

珍しい動植物の宝庫！  
インド洋に浮かぶ第七の大陸。



Herizo Fabien Rafidinarivo  
エリズー・ファビエン・ラフィディナリブ(32才)  
大学院薬学研究科



アフリカ大陸の南東に浮かぶ島国、マダガスカル。グリーンランド、ニューギニア、ポルネオに次ぐ世界で四番目に大きな島で、面積は日本の一・六倍ほど。「ワオキツネザル」やバオバブの木など、他では見かけないマダガスカル固有の動植物がたくさんいます」とエリズーさん。太古の昔の大陸移動で、アフリカ大陸(正確には「ゴンドワナ大陸」)から孤立したといわれるマダガスカルは、世界第七の大陸とも呼ばれ、島内の動植物たちは長い孤立の中で独自の進化を遂げていったと考えられています。

首都は島のほぼ中央に位置するアンタナナリヴォ。エリズーさんの住まいもここにあります。「一九六〇年にフランスから独立した」という経緯もあって、フランス的

【昨年度の研究テーマ(一部)】

話し合いによって自由に決められるテーマは、社会問題からきわどいテーマまで実に多彩。

ブラックホール 携帯電話について アレルギーとは何か? 中東問題について W杯の経済効果 古代文明における建築様式について 諫早湾干拓事業 ビサの斜塔 水の不思議 地球環境問題 ダム建設について 構造改革について 緑茶について 株式会社を設立する 体罰の実態 日本のゴミ問題・リサイクルについて 四川料理はなぜ辛い? 火星移住計画 クジラ類の座礁について 屋上緑化を軸とした都市緑化とその将来について 阪神タイガース 宇宙旅行 長崎にネコが多いのはなぜか 恋愛の科学 カクレキリシタン 魚の性の多様性について 民謡からみる方言 芭蕉の詠んだ橋 暗号の世界 社会における時計 若者による「食べ合わせ」の認識に関する研究



15年度版の「教養セミナーガイドライン」(教員用)と「教養セミナーガイドブック」(学生用)。

に学んでいます。少人数なので学生と教員および学生相互のコミュニケーションも充実。一人ひとりに教育が行き届き、友人関係も学部を越えて広がるので、その後の大学生活のよりよい発展につながるものが期待されます。

社会問題から日常の疑問まで多彩なテーマに取り組み

「教養セミナー」で研究・調査するテーマは「クソ」とに教員と学生あるいは学生同士の話し合いの中で自由に決定します。社会問題からサイエンス、日常の中の疑問まで、あらゆるジャンルからテーマが選ばれます。各クラスとも自分たちが関心を寄せて決めたテーマだけに、自然に積極的に取り組んでいくこととなります。

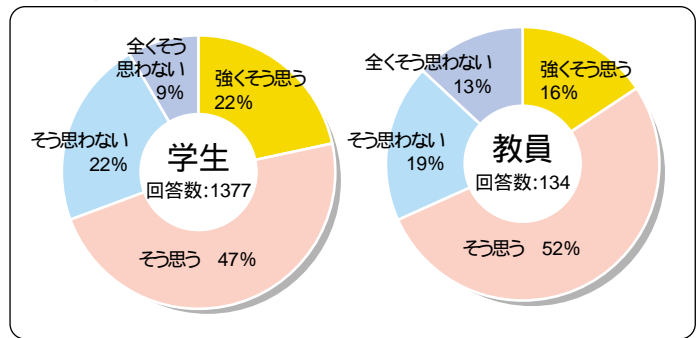
学生にも、教員にも好評

十四年度の「教養セミナー」を終えた学生へのアンケート調査では、「自ら調べて学ぶ機会があった」「プレゼンテーションする機会があった」という評価がたいへん多くあげられました。その他、「問題意識または問題点の分類と整理についての方法を学ぶ機会があった」「学内施設、図書館等」を活用する適切な資料収集方法を学ぶ機会があった、「収集した資料や情報の組み立て方やまとめ方について学ぶ機会があった」「授業内で発言する機会があった」などの評価も多く得られ、全体的に良好な結果がでています。また担当教員らの多くも、今後も続けるべきだ」という肯定的な評価をしています。

学生が大学に慣れるだけでなく、「研究をすることの面白さ」に気づき、「必要感をもって基礎を学ぶ」ことのきっかけになる「教養セミナー」。大学が今後ますます充分な教育的サービスを実施していくことの中で、学生一人ひとりと丁寧な「コミュニケーション」とれる「教養セミナー」は重要な科目のひとつとして注目を浴びています。

充実した教育を実現する 教養セミナー

Q 教養セミナーは今後も続けるべきか?



な建物が今も残っています。言語は学校等のオフィシャルな場ではフランス語、日常会話にはマダガスカル語と使い分けられていますね」と、来日四年目のエリズさんは流暢な日本語で話します。

「主食は日本と同じお米。でも、お箸ではなくスプーンとフォークですよ。普段は野菜と牛肉を使った料理が多く、祭りや来客などの特別な時は、豚肉でもてなすそうです。

国民の五十八%がキリスト教。「クリスマスやイースター(復活祭)などキリスト教の祭日はほとんど休日です」。その一方で、「家族が集まり先祖を敬う『ファミリアナ』という独特の古い伝統祭事が人々の間で根強く残っています」。マダガスカルは先祖を大切にする素朴で温かな国なのです。



# 内訪 学探

## 「原爆被災大学が、語り継ぐ、八月九日」 原爆の遺構&碑めぐり

被爆五十八年目を迎えるこの夏、キャンパスに点在する原爆の遺構と犠牲になった教職員や学生たちの慰霊碑をめぐりながら、あらためて平和の尊さについて考えます。

### 【文教キャンパス】

#### 1 旧制師範学生の慰霊碑

正門の守衛室後方にある小さな庭園。ここにある慰霊碑は、原爆の犠牲となった長崎師範学校教育学部前身(の学友五十四名の追悼のために建立されたものです。碑には教え子の死をみつめた先生や、かろうじて死をまめられた同窓生による題字や詩句が刻まれています。



### 【坂本キャンパス/医学部】

#### 2 くびろが丘の慰霊塔



医学部のポンス会館の裏手には「くびろが丘」と呼ばれる雑木林があります。かつてこの丘には虞美人草(ヒヤシの別名)が咲き誇り、虞美人草が咲く「路」、即ち「虞美路」から、「くびろが丘」と名付けられたとか。丘の上から市街地を見下ろすと、ふもとには医学部附属病院、そして浦上川を越えた向う側に稲佐山が見えます。

爆心地にほど近かった長崎医科大学(現医学部)は原爆で壊滅的な打撃を受け、角尾学長をはじめ八百五十名をこえる教職員や学生の尊い人命が失われました。くびろが丘には瀕死の重傷者が大勢逃げて来ましたがやがてその多くは水を求め

両親や学友の名を呼びながら次々に亡くなっていました。

くびろが丘に建立された慰霊塔の台座の裏側には、自らも被爆しながら負傷者の救護活動にあたらした永井隆博士の句が刻まれています。「傷つける友をさがして火の中へとび入りしまま帰らざりけり」。当時の痛まじさが伝わります。

#### 3 薬専防空壕跡地の慰霊碑



くびろが丘の腹に設けられた遊歩道を回り下ると、附属薬学専門部(薬学部前身)の射的場と防空壕跡地があり、ここにも慰霊碑が建立されています。附属薬学専門部では、学生の多くが学徒動員中で被爆をまめがれましたが、在校中だった一人の教授と三十六名の学生が犠牲となりました。

この慰霊碑の近くにある原爆後障害医療研究施設(二号館)内の展示室では、悲惨な被爆の実態がわかるさまざまな資料を見ることが出来ます。閲覧を希望される方は、事前に資料収集保存部 09.5.5.8.4.9.7.1.2.3(ご連絡下さい。

#### 4 長崎医科大学の門柱

医学部の図書館裏には、かつて長崎医

科大学の正門だった二本の門柱があり、その一(左側)が傾いたままになっています。これは原爆の爆風によるもの。大きな石材でつくられた門柱のその姿は、原爆の凄まじさを物語っています。



大正末期から昭和のはじめにかけての建造物であるといわれるこの門柱は、激動の時代をくぐり抜けてきた貴重な遺構のひとつです。この門から医学部附属病院へ続く坂道は、古く医科大学の学生たちも往来した通りで、現在も利用され続けています。

#### 5 被爆した配電室



医学部正門そばの同窓会館裏手にある旧配電室は、爆心地から東約六百メートルといつ近距離にありましたが、当時としては珍しい堅固なコンクリート造りだったため、被爆による難を逃れました。四方の柱の部分が突き出ているのが特徴的な建物ですが、被爆直後に撮影した写真に写っていたものと同じであることが判明したのは昨年のこと。今年春には「長崎市被爆建造物等」として登録・保存されることになりました。



【坂本キャンパス/附属病院】

6 水壺を捧げる子供の像

医学部附属病院玄関前に、出島をかたどった池に、水を落とし続けている子供の像がプロンプ像があります。コンコンと愛の泉



を湧き出させ、病める人々に神の恵みを、という願いをあらわしたこの像の作者は西 大由先生(当時、東京芸術大学)。先生の弟君は、長崎医科大学の学生でしたが原爆で亡くなっています。この像には水を求めながら死んでいったであろう亡弟への思いも込められているのです。



内科病棟「醫」の遺構  
当時の内科病棟のベランダの手摺に埋め込まれていたもので、「醫」をデザイン化したものらしい。被爆後、廃墟の中から見つけ出された。



7 被爆クスの木

現歯学部附属病院玄関前で涼しい木陰をつくり訪れる人々を和ませている大きなクスの木。爆心地から約七百メートルの距離で被爆し、その直後は枯れ木同然の姿になったものの翌年には新芽を出しました。その生命力は復興に立ち上がったばかりの人々を大きく勇気づけたとい



現在の歯学部附属病院前のクスの木



被爆前の同クスの木

います。  
現在、樹齢約九十年。この青配電室と同じく、「長崎市被爆建造物等」に登録されました。



【片淵キャンパス】

8 慰霊塔

原爆が落とされた時ヒカツという閃光と、激しい爆発音に見舞われた長崎高等商業学校(経済学部前身)。西山の谷間にあったため建物の被害はありませんでした。しかし学徒動員中の学生らが工場等で被爆。学籍簿から判明したその犠牲者数は二十六名。他に不明のままの者も数多くいました。

大講義室前にあるこの慰霊塔は、経済学部の瓊林会(同窓会)の物故会員のために昭和初期に建立されたもの。原爆で亡くなった学友の御霊もここに合祀され祈りを捧げられます。



学生時代を謳歌するなら

やっぱりサークルでしょ。

# We Love circle

## 【ペーロン・サークル】

学生と先生が心を合わせて櫂を漕ぐ！  
長崎の伝統行事、ペーロンへの挑戦。



ヨイヤサー、ヨイヤサーの  
掛け声を大村湾に  
響かせて



波静かな大村湾の辺りに建つ長崎大  
学子々川臨海研修所(西彼杵郡時津町)。  
ここを拠点に活動している「ペーロンサー  
クル」は長崎大学の夢募集で「ペーロンを  
漕いで盛り上がりたい」といつ企画が大  
賞を受賞したのがきっかけで生まれたサ  
ークル。「活動をはじめた昨年、さそくペ  
ーロン船中古や櫂を買い揃え、地元のに



海と空と緑の島々が美しい大村湾を疾走。漕ぎ手全員がタイミングを合わせるの、なかなか難しいらしい。

「一人だけでして...」。素人ばかりの集まりで大会までの時間も少ない。そんな中で熱心に海上練習に励んだ結果、時津町のオープンレースで三位入賞。喜びもひとしおでした。二年目を迎えた今では太鼓とヨイヤサーの掛け声で揃える櫂さばきもずいぶん上達。汗と潮にまみれて大村湾を疾走する姿は何とも勇壮です。

自然や仲間との一体感が  
うれしいペーロン



現在十二名の学生部員と約十名の教員がサークル活動に参加しています。この教員たちは夢大賞選出時に関わった経緯でサークル運営が軌道に乗るまで見守

るといつ役員らしいのですが、いつの間にかペーロンに魅了されてしまった人も少なくありません。石松隆和先生(工学部)もその一人で、皆が心をひとつにして汗を流すところがいい。それに何もかも忘れて漕ぐのに熱中するでしょ。気がつけば目の前に青い空と海と緑の島々がある。ものすごく爽快ですよ。また、最初の頃は手やお尻の皮がむけてたいへんな思いをされたという熊田裕之先生(環境科学部)

土曜日午後の練習に集まった部員たち。「体験ペーロン」の参加者や教育学部長(後列中央)をはじめとする数人の先生方の姿も見える。「ペーロンは年齢に関係なく、楽しくやれるんです」。(村岡)



は、昨年の大会で地元チームの見事な漕ぎ方やペーロンに対する熱意に触れて自分らはまだまだだと感じましたね」とペーロンの奥深さを感じている様子。こんなふうにペーロンは実際にやってみるとなかなか面白いのですが、村岡さんは「けろこ」メンバーだから学生が集まりにくい」とほします。

練習はキツイが、楽しみもある。  
夢は、県のペーロン選手権大会出場！

「全身をフルに使う漕ぐペーロンは確かにキツイ。でも一人じゃなく皆で力を合わせるものなので、初心者や女性も必ずできます」と村岡さん。厳しい練習の合間には、磯遊びや海辺での「ハベキ」、また地元の子供たちとのペーロンを通しての交流会など、楽しい企画も盛り沢山です。

今後のチームの課題は、「長距離のレースにも耐えられる力をつけること。夢は長崎県の強豪チームが競つペーロン選手権大会に出て入賞することです」。

また、春から夏のシーズン中は「体験ペーロン」の参加者を随時受け付け、長崎の夏の風物詩「ペーロン」を気軽に体験できる機会を提供しています。希望者は部長の村岡さんまで「一報下さい」。

部長の村岡です。  
入部希望者  
お待ちしております！



## 化学への招待

8月2日(土)

長崎大学では、日本化学会九州支部化学教育協議会、化学工学会、長崎県理科・化学教育懇談会が主催する「化学への招待」を開催します。

最先端の化学に関する講義と化学実験の実験を通じて、化学の不思議な世界を覗いてみませんか。

なお、参加するには事前の申し込みが必要となります。

- 日時** 8月2日(土) 10時30分～16時
- 場所** 長崎大学工学部1号館1階 材料工学科・応用化学科実験室
- 募集定員** 60人(参加費無料)
- 対象** 小学校高学年、中学生、高校生、一般
- 申込方法** 参加希望者1人につき1枚の葉書に、氏名、住所、電話番号、学校名(学年)及び「化学への招待参加申込」と明記の上、申し込みください。また、メールでの申し込みもできます。この場合、参加希望者1人につき1通のメールを送信ください。
- 申込締切** 7月18日(金)
- 申し込み** 〒852-8521 長崎市文教町1-14
- ☎長崎大学工学部応用化学科 馬越啓介 TEL/FAX : 095-819-2672  
E-mail : kumks@net.nagasaki-u.ac.jp

## 高大連携による 高校生公開講座

8月11日(月) 15時

長崎大学では高大連携事業により、県内の高校生に対して大学での研究の面白さや研究者の姿に触れる機会をより広く提供することにより、興味や関心を高め、その能力の伸長を図る公開講座を開催します。なお、講座を受講した生徒の成果を、各高等学校長は生徒の学校外の単位として認定します。

- 実施期間** 8月11日(月)～8月15日(金)〔5日間〕
- 対象** 長崎県内の高校生(学年は不問)
- 実施会場** 長崎大学
- 講座内容**
- 講座Ⅰ 「数学への誘いー数学の世界を楽しもうー」
  - 講座Ⅱ 「社会科学、人文科学の魅力」
  - 講座Ⅲ 「医学の基礎と臨床」
  - 講座Ⅳ 「理科ー科学的な考え方と工学への応用ー」

**申込方法** 必要書類を自分が所属する高校の校長へ提出します。

**受講経費** 講習料5,000円と講座で使用するテキスト代等

☎高大連携事務局 長崎県立長崎東高等学校内 教頭 米倉 源藏  
〒850-0007 長崎市立山5-13-1  
TEL : 095-821-4642 FAX : 095-823-5472  
E-mail : ne-sub@ngs2.cncm.ne.jp

## 長崎大学 オープンキャンパス

8月20日(水)

時間	学部名	説明会会場
13:00～16:00	教育学部	中部講堂及び教育学部各研究室等
13:30～15:40	経済学部	経済学部大講義室
14:00～17:00	医学部 医学科	医学部記念講堂
14:00～16:30	医学部 保健学科	医学部保健学科講義室等
13:00～16:00	歯学部	歯学部第1講義室等
13:00～16:30	薬学部*	全学教育102番教室及び薬学部
11:00～16:00	工学部	中部講堂及び工学部各学科研究室・実験室
13:00～16:00	環境科学部	環境科学部141番講義室及び各研究室等
13:00～17:00	水産学部	水産学部大講義室及び各研究室

\*薬学部は、会場の受入れ可能数が180人程で、対象を高校2年生以上にしております。

**受付時間** 開始時間30分前から行いますので開始時間前に会場へおいで下さい。ただし、工学部については開始時間1時間前(10時)から行います。

☎長崎大学学務部入試課 TEL : 095-819-2111

## 九州地区国立大学 進学説明会

8月20日(水)

九州地区の各国立大学の担当者が長崎大学において、自大学・学部の説明を行ったり、資料を配付したりして進学希望者へ情報提供を行います。

- 日時** 8月20日(水) 10時～16時
- 場所** 長崎大学学生会館談話室

### 編集後記

「長崎」から連想するものは?と問われれば、「原爆」、「平和祈念像」、「カステラ」、「ちゃんぽん」、「グラバー園」、「坂の町」などといった言葉が次々に湧いてくるのではないのでしょうか。多くの流行歌の素材にもなってきた「長崎」独特の歴史と風土。今回は、その中から「斜面都市・長崎」をキーワードに、学部の枠を取り払った協力体制をつくり、研究に取り組んでおられる先生方の姿を特集記事にいたしました。「地域に開かれた大学から、より地域に密着した大学」を目指して、相互に助け合いながら、奮闘なさっている先生方の熱意を肌で感じていただければ幸いです。

シリーズ「長崎学」では、「長崎の近代都市形成史」について、わかりやすく解説されております。連載の「明治ジャパネスク」も併せてお読みい

ただくことで、読者の皆様の「長崎」に関する知識の幅がより一層拡がることを期待しております。「いいたか放題」は、芥川賞作家の青来有一さんにご執筆いただきました。

TEL 095-819-2014 / FAX 095-819-2024  
E-mail : www\_admin@ml.nagasaki-u.ac.jp

■編集・発行◎長崎大学広報委員会(広報誌企画・編集専門委員会)  
■発行日◎2003年7月



古紙配合率70%再生紙を使用しています。

# CHOHO

## 第4号アンケート

読者の皆様のご意見・ご要望をもとに、より充実したCHOHOを目指します。大変お手数ですが以下のアンケートにお答え下さい。ご回答はFAX (095-819-2024) でお願ひします。



◆年齢

◆性別

歳

男

女

1 今回よかったコーナーに✓をつけて下さい。(複数回答可)

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 【学長コラム】私へ、長大へ、アクセスを!   | <input type="checkbox"/> 【健康生活】糖尿病                 |
| <input type="checkbox"/> 【座談会】斜面都市・長崎           | <input type="checkbox"/> 【教育のひろば】教養セミナー            |
| <input type="checkbox"/> 【明治ジャパネスク】長崎浦上街道       | <input type="checkbox"/> 【留学生のお国自慢】マダガスカル          |
| <input type="checkbox"/> 【いいたか放題】青来 有一 さん       | <input type="checkbox"/> 【学内探訪】原爆の遺構&碑めぐり          |
| <input type="checkbox"/> 【長崎学一歴史・民俗一】長崎の近代都市形成史 | <input type="checkbox"/> 【We Love Circle】ペーロン・サークル |

2 今回の内容はどうでしたか? ✓をつけて下さい。

やさしい  ふつう  少しむずかしい  むずかしい  わからない /  おもしろい  ふつう  つまらない

◎ご意見・ご感想をお書き下さい。

3 今後読んでみたいテーマなどありましたらご記入下さい。

◎ご自由にお書き下さい。

4 CHOHOをどこでご覧になりましたか?

5 その他、大学に対するご意見・ご要望がありましたらお聞かせ下さい。

◎ご自由にお書き下さい。

ご協力ありがとうございました!

長崎大学総務部総務課広報室

〒852-8521 長崎市文教町1番14号 TEL 095-819-2014

E-mail : www\_admin@ml.nagasaki-u.ac.jp